

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年	試験 圃場 数	剤型	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)							
						フェンアミドン		代謝物C		代謝物D		代謝物G	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
ひまわり種子 2002年	1	SC	1.89 g ai/kg種子 (種子処 理)	1	156	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ひまわり種子 2002年	1	SC	9.49 g ai/kg種子 (種子処 理)	1	156	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ひまわり種子 2002年	1	SC	1.89 g ai/kg種子 (種子処 理)	1	163	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ひまわり種子 2002年	1	SC	1.89 g ai/kg種子 (種子処 理)	1	187	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ひまわり種子 2002年	1	SC	1.89 g ai/kg種子 (種子処 理)	1	187	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
棉 種子 2003年	1	SC	300	1	154	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
棉 種子 2003年	1	SC	290	1	161	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
棉 種子 2003年	1	SC	302	1	173	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
棉 種子 2003年	1	SC	301	1	130	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
棉 種子 2003年	1	SC	301	1	127	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
棉 種子 2003年	1	SC	304	1	151	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
棉 種子 2003年	1	SC	302	1	178	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
棉 種子 2003年	1	SC	299	1	149	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年	試験 圃場 数	剤型	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)							
						フェンアミドン		代謝物C		代謝物D		代謝物G	
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
棉 種子 2003年	1	SC	298	1	173	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
棉 種子 2003年	1	SC	305	1	160	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
棉 種子 2003年	1	SC	299	1	180	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
棉 種子 2003年	1	SC	299	1	190	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02

注) WP : 水和剤、SC : フロアブル剤

- 一部に定量限界未満 (<0.01) を含むデータの平均値は定量限界値 (例えば 0.01) を検出したものとして計算し、*印を付した。
- 全てのデータが定量限界未満(<0.01)の場合は<0.01 と記載し、合計値は<0.02 と記載した。
- まくわりの試験では、親化合物及び代謝物 L を分析対象化合物としたが、代謝物 L は全て定量限界未満 (<0.01) であった。

<参照>

- 1 農薬抄録フェンアミドン（殺菌剤）：バイエルクロップサイエンス株式会社、2007年、未公表
- 2 ¹⁴C 標識フェンアミドンを用いたラットにおける代謝試験（吸収、分布、代謝及び排泄）：Rhone-Poulenc Agro Sophia Antipolis 研究所（仏）、1999年、未公表
- 3 フェンアミドンの安全性評価資料の追加提出について：バイエルクロップサイエンス株式会社、2003年、未公表
- 4 ぶどうにおける代謝試験：RCC Ltd（スイス）、1999年、未公表
- 5 トマトにおける代謝試験：Rhone-Poulenc Agriculture Ongar 研究所（英）、1999年、未公表
- 6 レタスにおける代謝試験：Rhone-Poulenc Agriculture Ongar 研究所（英）、1999年、未公表
- 7 ばれいしょにおける代謝試験：Rhone-Poulenc Agriculture Ongar 研究所（英）、1999年、未公表
- 8 好氣的土壌運命試験：Rhone-Poulenc Agriculture Ongar 研究所（英）、1999年、未公表
- 9 土壌吸着試験（GLP 対応）：化学分析コンサルタント、2000年、未公表
- 10 RPA 412636（RPA 717879 [代謝物記号 D] の S-鏡像体）エージングさせた土壌における脱着：Rhone-Poulenc Agriculture Ongar 研究所（英）、1999年、未公表
- 11 フェンアミドン及びその代謝分解物の土壌中消失試験：Rhone-Poulenc Agro Dargoire 研究所（仏）、1999年、未公表
- 12 土壌表面における光分解：Rhone-Poulenc Agriculture Ongar 研究所（英）、1999年、未公表
- 13 加水分解運命試験：Rhone-Poulenc Agro Dargoire 研究所（仏）、1998年、未公表
- 14 水中光分解運命試験（緩衝液）：Rhone-Poulenc Agro Dargoire 研究所（仏）、1998年、未公表
- 15 水中光分解試験（緩衝液）：Rhone-Poulenc Agro Dargoire 研究所（仏）、1999年、未公表
- 16 水中光分解運命試験（自然水）（GLP 対応）：Battele AgriFood Ltd.（英）、2002年、未公表
- 17 代謝分解物のキラリティー検討：Rhone-Poulenc Agriculture Ongar 研究所（英）、1999年、未公表
- 18 フェンアミドンの作物残留試験成績：（財）残留農薬研究所、1999~2000年、未公表
- 19 フェンアミドンの作物残留試験成績：（財）東京顕微鏡院：2000年、未公表
- 20 国民栄養の現状－平成10年国民栄養調査結果－：健康・栄養情報研究会編、2000年
- 21 国民栄養の現状－平成11年国民栄養調査結果－：健康・栄養情報研究会編、2001年
- 22 国民栄養の現状－平成12年国民栄養調査結果－：健康・栄養情報研究会編、2002年
- 23 フェンアミドンの土壌残留試験成績：（財）残留農薬研究所、1999年、未公表
- 24 マウスにおける急性経口毒性試験（GLP 対応）：C.I.T.（仏）、2000年、未公表
- 25 ラットにおける急性経口毒性試験（GLP 対応）：Rhone-Poulenc Sophia Antipolis（仏）、1997年、未公表
- 26 ラットにおける急性経皮毒性試験（GLP 対応）：Rhone-Poulenc Sophia Antipolis（仏）、1997年、未公表
- 27 ラットにおける急性吸入毒性試験（GLP 対応）：Huntingdon Life Science（英）、1998年、未公表
- 28 RPA 410193（代謝物 RPA 405862[代謝物記号 G]の S-鏡像体）のラットを用いた急性経口毒性（GLP 対応）：C.I.T.（仏）、1999年、未公表

- 29 ラットを用いた急性神経毒性試験：Huntingdon Life Science（英）、1999年、未公表
- 30 ウサギを用いた皮膚刺激性試験（GLP 対応）：Rhone-Poulenc Sophia Antipolis（仏）、1997年、未公表
- 31 ウサギを用いた眼刺激性試験（GLP 対応）：Rhone-Poulenc Sophia Antipolis（仏）、1997年、未公表
- 32 モルモットを用いた皮膚感作性試験（GLP 対応）：C.I.T.（仏）、1997年、未公表
- 33 ラットを用いた飼料混入投与による 90 日間反復経口投与毒性試験（GLP 対応）：Rhone-Poulenc Sophia Antipolis（仏）、1995年、未公表
- 34 フェンアミドンの食品健康影響評価に係る資料の追加提出について：バイエルクロップサイエンス株式会社、2004年、未公表
- 35 ラットを用いた飼料混入投与による 90 日間反復経口投与毒性試験（GLP 対応）：Rhone-Poulenc Sophia Antipolis（仏）、1997年、未公表
- 36 マウスを用いた混餌投与による 90 日間反復経口投与毒性試験（GLP 対応）：Rhone-Poulenc Sophia Antipolis（仏）、1997年、未公表
- 37 イヌを用いたカプセル投与による 13 週間経口毒性試験（GLP 対応）：C.I.T.（仏）、1999年、未公表
- 38 ラットを用いた飼料混入投与による 90 日間反復経口投与神経毒性試験（GLP 対応）：Huntingdon Life Science（英）、2001年、未公表
- 39 イヌを用いたカプセル投与による 52 週間経口毒性試験（GLP 対応）：C.I.T.（仏）、1999年、未公表
- 40 ラットを用いた飼料混入投与による 1 年間反復経口投与毒性/発がん性併合毒性試験（GLP 対応）：Rhone-Poulenc Sophia Antipolis（仏）、1999年、未公表
- 41 マウスを用いた飼料混入投与による発がん性試験（GLP 対応）：Central Toxicology Laboratory（英）、1999年、未公表
- 42 ラットにおける繁殖試験（GLP 対応）：Istituto di Ricerche Biomediche（伊）、1999年、未公表
- 43 ラットにおける催奇形性試験（GLP 対応）：Rhone-Poulenc Sophia Antipolis（仏）、1999年、未公表
- 44 ウサギにおける催奇形性試験（GLP 対応）：Rhone-Poulenc Sophia Antipolis（仏）、1999年、未公表
- 45 細菌を用いた復帰変異性試験（GLP 対応）：Rhone-Poulenc Sophia Antipolis（仏）、1996年、未公表
- 46 マウスリンパ腫 L5178Y 細胞を用いた突然変異誘発性試験（GLP 対応）：Covance Laboratories Limited（英）、1999年、未公表
- 47 ヒト末梢血リンパ球培養細胞を用いた *in vitro* 染色体異常誘発試験（GLP 対応）：Covance Laboratories Limited（英）、1999年、未公表
- 48 マウスを用いた経口投与後の小核試験（GLP 対応）：Covance Laboratories Limited（英）、1999年、未公表
- 49 細菌を用いた DNA 修復試験（GLP 対応）：（財）食品農医薬品安全性評価センター、2000年、未公表
- 50 分離ラット肝培養細胞を用いた *in vitro* 不定期 DNA 合成試験（GLP 対応）：Covance Laboratories Limited（英）、1999年、未公表
- 51 *in vivo/in vitro* 法を用いた分離ラット肝細胞における不定期 DNA 合成試験（GLP 対応）：Covance Laboratories Limited（英）、1999年、未公表

- 52 RPA 410193 (代謝物 RPA 405862[代謝物記号 G]の S-鏡像体) の細菌を用いた復帰変異性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories Limited (英)、1999 年、未公表
- 53 RPA 410193 (代謝物 RPA 405862[代謝物記号 G]の S-鏡像体) のマウス骨髄細胞を用いた小核試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories Limited (英)、1999 年、未公表
- 54 フェンアミドンの一般薬理試験 : 食品農医薬品安全性評価センター、2000 年、未公表
- 55 ラットを用いた 14 日間毒性試験 (肝薬物代謝酵素誘導試験および細胞周期の評価) : Rhone-Poulenc Sophia Antipolis (仏)、1995 年、未公表
- 56 食品健康影響評価について
(URL : <http://www.fsc.go.jp/hyouka/hy/hy-uke-bunsyo-59.pdf>)
- 57 第 32 回食品安全委員会
(URL : <http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai32/index.html>)
- 58 第 8 回食品安全委員会農薬専門調査会
(URL : <http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/n-dai8/index.html>)
- 59 食品健康影響評価に係る追加資料 : バイエルクロップサイエンス株式会社、2004 年、未公表
- 60 第 18 回食品安全委員会農薬専門調査会
(URL : <http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/n-dai18/index.html>)
- 61 農薬専門調査会における審議状況について : 食品安全委員会第 67 回会合資料 2
(URL : <http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai67/dai67kai-siryou2.pdf>)
- 62 フェンアミドンに係る食品健康影響評価の結果の通知について
〔平成 16 年 12 月 15 日付、府食第 1257 号〕
(URL : <http://www.fsc.go.jp/hyouka/hy/hy-tuuchi.-fenamidon.pdf>)
- 63 食品、添加物等の規格基準 (昭和 34 年厚生省告示第 370 号) の一部を改正する件 (平成 17 年 9 月 16 日付、平成 17 年厚生労働省告示第 423 号)
- 64 食品、添加物等の規格基準 (昭和 34 年厚生省告示第 370 号) の一部を改正する件 (平成 17 年 11 月 29 日付、平成 17 年厚生労働省告示第 499 号)
- 65 食品健康影響評価について
(URL : <http://www.fsc.go.jp/hyouka/hy/hy-uke-fenamidone-190626.pdf>)
- 66 第 196 回食品安全委員会
(URL : <http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai196/index.html>)
- 67 第 8 回食品安全委員会農薬専門調査会確認評価第二部会
(URL : http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/kakunin2_dai8/index.html)
- 68 食品健康影響評価について
(URL : <http://www.fsc.go.jp/hyouka/hy/hy-uke-fenamidon-191127.pdf>)
- 69 第 217 回食品安全委員会
(URL : <http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai217/index.html>)
- 70 第 38 回食品安全委員会農薬専門調査会幹事会
(URL : http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/kanjikai_dai38/index.html)